

磐城平城しろあと公園

戊辰戦争から150年超、この春、磐城平城旧城跡が、新たに「磐城平城しろあと公園」としてオープン。磐城平藩の行政の中核が、いわきの歴史と文化を身近に感じることが出来る空間として、市民の憩いの場に生まれ変わりました。

磐城平城は、慶長8（1603）年に鳥居忠政が築城を始めたといわれ、内藤氏・井上氏・安藤氏と藩主を変えながらも、平の街並みを見守ってきました。

慶応4（1868）年、戊辰戦争が勃発。磐城平藩は、新政府軍からの攻撃に耐えましたが、ついに弾薬が残りわずかとなり、敵側の手に落ちる前に自ら城に火をつけ、約270年の歴史に幕を閉じました。

今回、公園内に整備された体験学習施設「緑天庵」では、磐城平城の歴史を映像とともに学ぶことができるほか、茶道などの日本文化を体験する場として貸出しも行っています。

また、展望デッキからは、平市街地を一望することができます。

JRいわき駅から徒歩3分とは思えない草木が茂る自然の中で、喧騒から離れ、ゆったりとした時間の流れに身を委ねてみてはいかがでしょうか。



Information 体験学習施設「緑天庵」

- 住所 平字旧城跡 28-3
- 電話番号 38-8600
- 開館時間 9時～17時
- 休館日 毎週火曜日
- 料金 入館無料（占有する場合などは有料）
- 駐車場 9台（うち思いやり駐車場4台）



郵便局窓口でのお受取り



激動の日本を支えた名君

安藤信正公

文政2（1819）年
▶ 明治4（1871）年



42歳で幕府の最高職である老中に任命された、磐城平藩第5代藩主の信正公。直後に起きた桜田門外の変では事態収拾に奔走します。坂下門外の変を契機に失脚するまでの2年間、幕政を取り仕切りました。53歳の生涯を駆け抜け、現在は旧城跡にほど近い良善寺に眠っています。

磐城平城しろあと公園オープン

いわき市長 内田 広之

磐城平城しろあと公園がオープンしました。磐城平藩の第5代藩主・安藤信正公は、老中（現在の総理大臣）として、日本全体の政治を担いました。信正公は、争いではなく調和（対話）で公家と武士を融和する『公武合体論』を進め、外交も力ではなく対話で進めました。世界紛争が進行する中、今の時代にも必要な政治の考え方です。市内では、信正公のNHK大河ドラマ化を目指す動きもスタートしました！この機会にぜひ、本市の歴史を感じてください。